

社会貢献活動

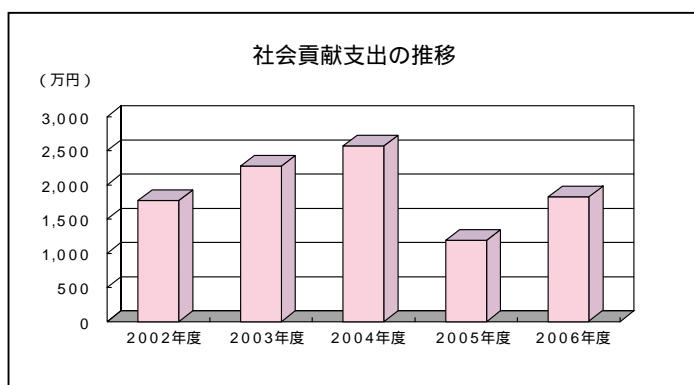
社会貢献に対する考え方

「三菱製紙グループ企業行動憲章」に掲げている「紙、パルプおよび写真感光材料を中心に、高い技術力を活かして社会に有用な製品およびサービスの開発と提供を行い、豊かな社会の実現に貢献することを企業活動の目的とします。」を基本理念として、社会と共生していることを常に認識し、積極的に社会貢献活動を推進してまいります。

寄付・義援金等

社会貢献支出の推移

当社は、経団連1%クラブに加入しており、毎年、当社の社会貢献活動実績を報告しております。



- ・2002年度 1,769万円
- ・2003年度 2,275万円
- ・2004年度 2,573万円
- ・2005年度 1,189万円
- ・2006年度 1,822万円

自然災害被災地復興への支援

当社グループは積極的に復興支援を行っております。

- ・2004年10月 『新潟県中越地震』義援金 100万円 救援物資 トイレットロール 200ケース
- ・2004年12月 『スマトラ沖大地震』義援金 60万円
- ・2005年 8月 『米国ハリケーン』義援金 90万円
- ・2005年10月 『パキスタン北部地震』義援金 50万円
- ・2006年 5月 『インドネシア・ジャワ島中部地震』義援金 50万円
- ・2007年 3月 『能登半島沖地震』救援物資 トイレットロール他 200ケース

NPOやNGOとの連携

点字カレンダーの制作・寄贈

当社では、1997年より点字カレンダーの制作を始め、2007年版で11年目を迎えました。

2007年版のタイトルは「melodies (発車メロディーのススメ)」。

駅の発車メロディーが登場して10年以上、その数は増えひとつの文化となってきており、関東圏のメロディーを集めた点字カレンダーを制作しました。

点字カレンダーは、当社工場のある地域の福祉団体や、点字図書館等に合計2,500部寄贈し、寄贈先の団体並びに利用されている視覚障害者の方から好評です。

実際に使用されている視覚障害者の方からの声を反映し、毎年改良を加えています。



これまでに制作した点字カレンダー



「みどりの小道」環境日記に協賛

当社は、(財)グリーンクロスジャパンが主催する「みどりの小道」環境日記に、2004年度から協賛しています。本年は、全国の希望する小学校などに10万冊が無償配布されました。この冊子には当社のFSC森林認証紙が使用されています。

「みどりの小道」環境日記は、小学生やその家族が身近な環境問題について考え、身のまわりで何ができるか話し合い、自らの行動(エコアクション)に結びつけることを目的としています。そうした自分たちの発見やアクションを「みどりの小道」環境日記に記入することにより多くの人々に伝えることができます。

2006年12月に第8回「みどりの小道」環境日記シンポジウムとして、環境日記コンテスト表彰式、こども環境アジア会議「エコ・ニコサミット2006」が開催されました。

「みどりの小道」ホームページ <http://www.midorinokomichi.net/>



記念シンポジウムでの
社長講演

「日本森林管理協議会」の発足を支援

適切な管理が行われている森林からの木材・木材製品の市場での流通・調達を推進することを目的として2006年8月に特定非営利活動法人「日本森林管理協議会」が設立されました。

森林認証制度普及の中心的役割を果たすことが期待されています。2007年1月に開催された発足記念公開シンポジウム「木を伐って森を守る」では、佐藤社長が基調講演を行い、製紙メーカーにおける森林認証を通じた森林保全の取り組みを紹介しました。また、会員として「日本森林管理協議会」を支援しています。

「日本森林管理協議会」ホームページ

<http://www.forsta.or.jp/>



高砂クリーンキャンペーン

地域社会とともに

地域社会との交流

当社は、地域社会とのより強固な信頼関係を築くことが重要と考え、各工場・研究所などにおいて地域社会との交流活動を積極的に推進しております。

各工場では、定期的に工場周辺の清掃活動を行うほか、地元自治体が行う列島クリーンキャンペーン、海岸清掃等に積極的に参加しています。

割り箸リサイクル

地域完結型リサイクル社会を目指す八戸エコ・リサイクル協議会と共同で、八戸市内の飲食店等から回収された割り箸をパルプ原料として利用する活動を2000年から行っています。

割り箸は資源として分別回収されないため、ゴミ袋に穴をあけ汚水漏れの原因になるなど問題にされていました。飲食店等で発生した割り箸は回収・運搬協力店を経て、八戸工場に運ばれ、木材チップに混ぜられパルプにされます。回収店舗数は約300件、年間回収量は約10tになっています。また、北上ハイテクペーパーにおいても同様の取り組みが行われています。

森林整備ボランティア行事に参加

2006年9月17日、西山森林整備推進協議会(京都府長岡京市)主催の「森林ボランティア行事」に参加し、森林を守るため雑木林の除間伐を行いました。
地元企業の社員やボランティアの方など130名が参加しました。



西山森林ボランティア活動

関連会社の社会貢献活動

「はな街道」活動参加

三菱製紙販売(株)では、銀座中央通りを季節の花々で彩る「はな街道(フラワーボランティア)」に参加、花壇に季節の花々を咲かせる費用(フラワー寄金)を提供するフラワーサポーター「花奉行」として参加するとともに、花植えや清掃の活動にも協力しました。

NPO法人「はな街道」では、我が国の道路原標がある名橋「日本橋」を拠点とする「中央通り」を四季折々の花で飾り、国際都市東京のメインストリートにふさわしい「景観の保全」と「さらなる賑わいの創出」を目指しています。



まちかどクリーンデー

中央区「まちかどクリーンデー」参加

三菱製紙販売(株)では、中央区環境部が進められている「まちかどクリーンデー」に参加、毎月20日前後の月曜日9時から、会社の周辺を中心にゴミの収集を行っております。身近な場所の清掃を毎月日にちを決めて地域で一斉に繰り広げ、『住みたい、働きたい、訪れたい』清潔で楽しいまちを目指しています。

恵まれない人々への支援

(三菱ハイテクペーパー・フレンスブルク(MPF))

工場のあるフレンスブルク市では、恵まれない人々に日々の食料や衣服を1ユーロで提供する『フレンスブルガー・ターフェル』の活動が行われています。現在、約1,000家族が世話を受けています。

MPFでは、このような活動を尊重し、支援を続けています。写真は、MPFの工場長が模擬店の売上金(1,111ユーロ)を、『フレンスブルガー・ターフェル』の代表に手渡しているところです。



フレンスブルガー・ターフェル